

### AC 100Vまたは200V専用

OTP形固定電圧電源装置は、商用電源をトランスで降圧し全波整流する、DC24V系のクラッチ・ブレーキ用電源装置です。AC100VまたはAC200Vの商用電源に接続するだけで、簡単に直流出力電圧DC24Vが得られます。

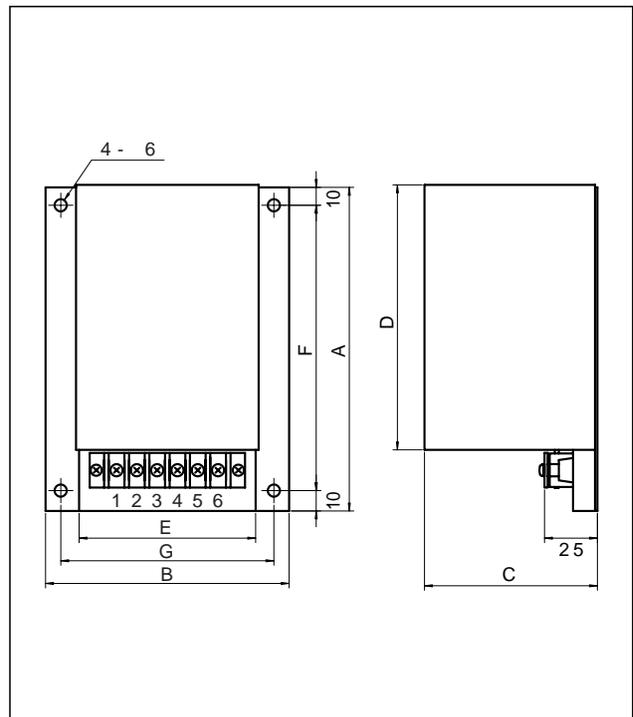
トランスで絶縁してありますので堅牢で信頼性が高く、DC24V系クラッチ・ブレーキの一般的な用途には、この電源をご使用ください。

入力電圧はAC100Vまたは200V専用になっていますので、各種電圧で使用する場合は、OTPF形（AC100/110/120V入力）またはOTPH形（AC200/220/240V入力）をご使用ください。



### 仕様

- 入力電圧 ……AC100/200V±10% 50/60Hz
- 出力電圧 ……DC24V<sup>+10%</sup><sub>0</sub>  
(AC100/200Vを入力し、最大の負荷電流を流したとき)
- 整流方式 ……単相全波整流
- 使用周囲温湿度 ……0~40℃ 25~85%RH  
(結露無きこと)
- 保存周囲温湿度 ……-10~70℃ 25~90%RH  
(結露無きこと)
- 絶縁耐力 ……AC1500V 50/60Hz 1分間  
入力一括と出力一括間  
入力一括と4番端子/ケース間  
AC1000V 50/60Hz 1分間  
出力一括と4番端子/ケース間
- 絶縁抵抗 ……DC500Vメガにて100MΩ以上  
入力一括と出力一括間  
入力一括と4番端子/ケース間  
出力一括と4番端子/ケース間
- 表面処理 ……焼付け塗装、マンセル7.5BG5/2



### 寸法

形番	出力電流	ヒューズ	A	B	C	D	E	F	G	質量
OTP6	0.25A以下	0.5A	140	110	75	110	80	120	95	1.2kg以下
OTP12	0.5A以下	1A	140	110	75	110	80	120	95	1.2kg以下
OTP25	1A以下	2A	140	110	75	110	80	120	95	1.6kg以下
OTP45	1.8A以下	3A	160	120	85	130	90	140	105	2.3kg以下
OTP70	2.9A以下	5A	160	120	85	130	90	140	105	2.8kg以下
OTP130	5.4A以下	10A	190	140	105	160	110	170	125	4.8kg以下
OTP240	10A以下	15A	200	150	105	170	120	180	135	6.4kg以下

### ③ 形番選定

(1) クラッチ・ブレーキを1台接続する場合

クラッチ・ブレーキの負荷電流の125%以上の電源を選定して下さい。

(2) クラッチ・ブレーキを2台以上接続し、同時に励磁する場合

同時に励磁するクラッチ・ブレーキの負荷電流の合計に対し、125%以上の電源を選定して下さい。

尚、1台の電源に2台以上のクラッチ・ブレーキを接続しても、常に1台しか励磁しない場合は、その中で最も大きい負荷電流の125%以上の電源を選定して下さい。

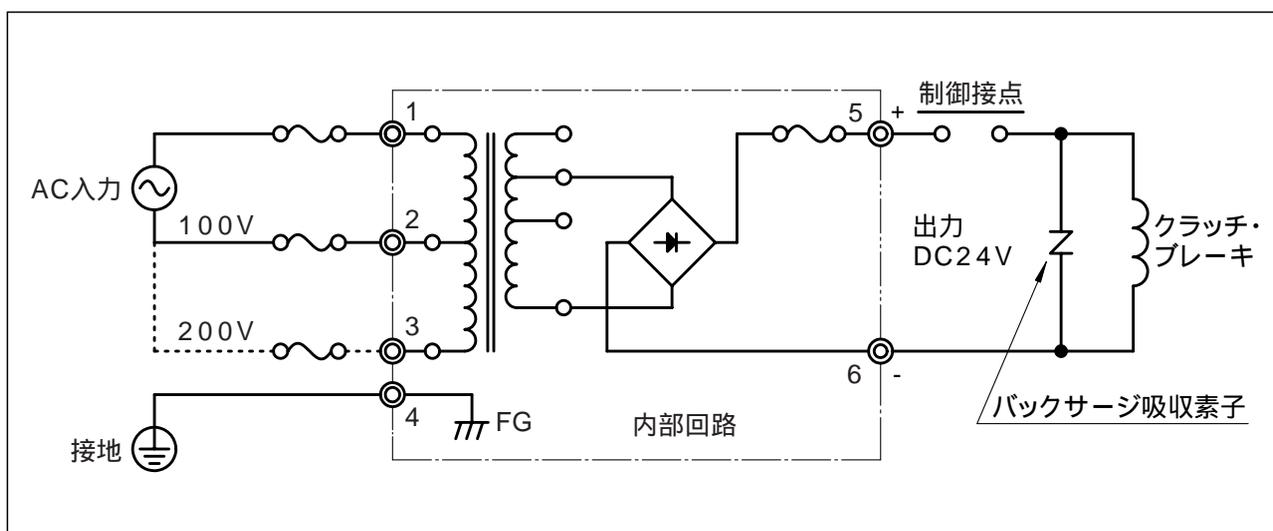
(3) 使用するクラッチ・ブレーキに対して出力電流の大きすぎる電源を選定すると、出力電圧が高すぎる場合があります。

### ④ 出力電圧の調整

電源装置の出力電圧は、入力電圧および負荷電流によって変化しますからクラッチ・ブレーキを接続し、そのリード線部分で電圧がDC23~26Vにならない場合は、次の要領で調整を行ってください。

トランスの二次側には④⑤⑥⑦の4本のタップが出ています。出荷時は④と⑥を内部回路にハンダ付して、他の⑤⑦は遊んで絶縁してあります。電圧が低いときは⑥をはずして⑦に、高すぎるときは⑤にハンダ付して他の線は前と同様に絶縁してください。

もし⑤または⑦に接続して規定の電圧にならないときは入力電圧の変動が大きすぎるか、電源装置の出力電流が不適と思われるからです、調べてください。



### ⑤ 使用上の注意

(1) 安全のために必ず4番端子を接地して下さい。

(2) AC入力側にヒューズ、サーキットプロテクタなどの保護装置を接続して下さい。

(3) 当電源はインバータ出力電圧の入力はできません。入力すると電源が破損します。

(4) 当電源はクラッチ・ブレーキ用のバックサージ吸収素子を内蔵していませんので、外部回路に適切なバックサージ吸収素子を使用して下さい。